

日本看護歴史学会

會報

日本看護歴史学会

第 26 号

1997年2月15日

看護の大学化が進む中で

依田和美

今、看護教育の大学化が進んでいる。平成二年までは全国で看護大学が一一校であったが、平成四年に三校、平成五年に七校、平成六年に九校、平成七年には一〇校、平成八年に六校が設立され、そして平成九年に七校が設置される予定であり、全国の看護大学の数は平成九年に五三校となる。看護の短期大学の数も六〇校余りとなり、長年にわたり各種学校、また専修学校での劣悪な教育環境の下でしいたげられてきた看護学生にもやっ

と「学校教育法」第一条校の教育研究条件の整ったキャンパスが提供され始めた。

私は昭和三〇年代に看護学校を卒業し、看護婦として勤務したのち、昭和四二年に大阪大学医療技

術短期大学の助手になり、現在は大阪府立看護大学医療技術短期大学部に籍をおいている。振り返れば三〇年という長い歳月を看護短期大学の教員として看護教育に携わってきたことになる。

短期大学の教員として、他の分野の教員とともに教育にたずさわる中で、看護教育の遅れを痛感し、なぜこのように看護の教育が他の後塵を拝することになったのかという疑問をもつようになった。そもそも私が看護歴史に関心を抱いたのは、この辺の問題意識からであった。

戦後五〇年を迎えて、看護教育の流れはやっと学校教育制度の本流に太い流れとなって合流した。しかも変化は、冒頭で説明したよ

うにここ五・六年の間に起こった。私が勤務する大阪府においても、平成六年に看護大学が設立されることになり、その際旧看護短期大学に既存の府立専修学校を整理統合し医療技術短期大学部として改組・移転した。

平成六年四月、新築なった近代的な素晴らしい校舎を目の当たりにして大いに感動をおぼえた。それまで勤務した短期大学は、いずれも古い建物を利用したものであり、その時の感慨は看護教育にもこれ程多額の財政投資が行われる時代になったのかという思いであった。同じように他の府県でも次々と素晴らしい看護大学や短期大学の建物が建設されている。

この変化は高齢化社会の到来、また国民医療費の高騰などにより、看護職への期待が一举に増大した結果によるといわれているが、このように急激な変化になるうとは看護界の誰が予測したであろうか。看護職の一員として喜ばしく思う反面、これが本当に私達の希望と力によって実現したものであるのかという半信半疑の思いもなくはない。

看護大学の設置が急速に押し進められる中で、当然ながら未曾有の看護教員不足が引き起こされ、

看護教育界では今やみるに耐えない教員の引き抜き合戦があらちちらで繰り広げられている始末である。

中でも既存の看護短期大学がその影響をまともに受けているのではないだろうか。私もこの凄まじいばかりの看護大学設立ラッシュの真っ只中で右往左往しながら、看護短期大学の運営において毎日苦しい決断を迫られ続けている。

急激な変化の時代において、その中で当事者たちがどのように判断し、またいかに対処するかが問われ、それによって主体的な歴史が作られて行く。これまでの日本の看護職の歴史を振り返る時、医師をはじめとする看護職以外の人々の意向に左右されることが強かったが、今度こそ看護職が主体となって堅実な質的發展の歴史を導いていきたいと思う。

看護歴史学会の会員として、私たちは看護の歴史を学び、研究するだけではなく、今看護の歴史を身をもって創造しつつあるという時代認識に立って、それぞれの立場での熟慮に富んだ発言と行動が求められていると思う。

第一一回 日本看護歴史学会

◆メインテーマ

「保健婦助産婦看護婦法五〇年
(以下「保助看法」) 記念大会」
本年は「保助看法五〇年」目
の年に当り、法律制定に直接関
った当時の関係者等の方々に証言
をお願いし、会員の研究の一助
と考えて企画したものです。

◆証言者の方々

一、保助看法制定に関った方

元厚生省看護課長

金子光先生

元岡山県モデルスクール教
務主任

榊(旧姓間宮)秀子氏

元京都市保健婦係長

林 みどり氏

◆関連報告

保良せき氏(保健婦の先駆け)

別所智枝子氏

GHQに関する研究報告

大石杉乃氏

◆研究発表の申し込みは六月末日
が切りになりますので、それ
迄に発表予定の方は本会の事務
局に御連絡下さい。

◆開催期日および会場

○開催期日 八月八・九日(金・土)

◆会場 京大会館(東大路一条下
ル西入ル) 地図等は次号以降。

◆お詫び

昨秋の会報第25号に次年度等
の会計報告を掲載できませんでした
ので、以下のように報告い
たします。



看護婦(日赤看護大学蔵)

日本看護歴史学会 1995年度会計報告

収入の部 (単位 円)

項目	予算額	決算額	前年度決算額
前年度繰越金	737,682	737,682	0
会費	600,000	388,000	▲212,000
		会員 81口 新入会員 16口	
寄付金その他	50,000	73,577	23,577
		会誌等売上(66,980) 利息(1,597) 寄付金(5,000)	
合計	1,387,682	1,199,259	▲188,432

支出の部 (単位 円)

項目	予算額	決算額	前年度決算額
事務経費	280,000	401,934	▲121,934
印刷費	(40,000)	(76,403)	
通信費	(160,000)	(286,380)	
文具、その他	(80,000)	(39,151)	

項目	予算額	決算額	前年度決算額
幹事会開催費	150,000	187,886	▲37,886
出版費	300,000	60,900	239,100
会報発行費	(100,000)	(60,900)	
		22号 30,900 23号 30,000	
学会誌発行費	(200,000)		
会員名簿費	100,000	61,800	38,200
総会費	50,000	50,000	0
分科会費	20,000	2,350	17,650
予備費	487,682	0	487,682
合計	1,387,682	764,870	622,812

次年度への繰越金

収入額 1,199,259 円 - 支出額 764,870 円 = 434,389 円

(会計監査報告)

監査の結果、上記報告書は日本看護歴史学会の1995年度の収支を適正に表示していることを認めま
す。

1995年7月28日

1995年8月4日

会計監査 松田比佐子(前)

会計監査 高橋典子(現)

第一一回大会分科会 話題提供者の募集

分科会では、大会での話題提供者を募集しています。例年のように多くの話題提供者で盛り上げましょう。話題提供者は左記の要領で記入して、お送り下さい。会員に限りません。

- 一、タイトル
- 二、所属、氏名、会員番号
- 三、要旨、または呼びかけ
(百字以内)
- 四、期日、六月末日まで
- 五、送付先、〒723 広島県三原市学園町一の一

広島県立保健福祉短期大学
高田節子宛

多くの応募をお待ちしています。第一〇回の山形大会分科会の要旨は会報25号に記載していますが、今回も山形大会のように会員の日頃研鑽している関心分野について話題提供して頂ければと思います。すでに本学会に参加の皆様は御存じと思いますが、形式はそれぞれの話題提供者が全体会議で要旨を説明します。その後、それぞれに別れて発表、質問・意見交換となります。

分科会担当 五十嵐節・山崎雅代
高田節子

看護史一口メモ ⑩

(前略) 晩年になって私が看護史の調査研究をするようになってからわかったことですが、岡山は東京、京都につぐ日本近代看護教育の先進地で、一八八九(明治二二)年、すでにその芽生えがありました。東大病院から転じた菅之芳(一八五三〜一九一四)、瀬尾原始(一八六一〜一九三〇)医師らの努力によるものです。

しかし中断された時期もあったらしく、私が入学した時の正式名は岡山医科大学付属医院産婆看護婦養成所で、一九三三(大正二二)年に第一期生が卒業し、私たちは一六期生でした。そして、この養成所は二七期まで卒業生を出し、戦後、厚生女子部(一九四八〜五一)と改称され、さらに岡山大学医学部看護学校(一九五一〜九二)となり、現在は岡山大学医療技術短大看護学科(一九九〇〜)として継承されています。

第二次世界大戦後、アメリカ占領軍の指導があつて、日本の看護教育は飛躍的に高められ、あちこちに新しい官公私立の看護学校がうまれましたけれど、今思うと、ここは伝統からうまれる底力のようなものを持っていたと思います。

(中略) 養成所の授業は内容が充実していて、女学校では感じられなかったような緊張感と満足感がありました。テキストのある学科は少なかったのでノートを取るのが大変でした。予想に反して一番手応えがあり、関心を深くしたのは産婆学でした。上下二巻の安藤畫一教授のテキストでK助教授の授業を受けたのですが、講義も上手で、先生の性格が滲み出てくるようなものがあつて授業が楽しかったです。(高橋政子『いのちをみつめて―ある保健婦の半生、ドメス出版』七七〜七九頁より)

山形県の保健婦(平塚氏提供)



学校保健との連携事業(ふれあい体験学習)ねたきり老人訪問

日本看護歴史学会 1996年度予算案

収入の部 (単位 円)			
項目	予算額	摘要	前年度決算額
前年度繰越金	434,389		737,682
会費	680,000	170名×4,000	388,000
寄付金その他	50,000		73,577
合計	1,164,389		1,199,259

支出の部 (単位 円)			
項目	予算額	摘要	前年度決算額
事務経費	250,000		401,934
印刷費	(40,000)		(76,403)
通信費	(160,000)	会報 3回 学会誌1回	(286,380)
文具、その他	(50,000)		(39,151)

項目	予算額	摘要	前年度決算額
幹事会開催費	150,000		187,886
出版費	300,000		60,900
会報発行費	(100,000)	年3回	(60,900)
学会誌発行費	(200,000)	年1回	
会員名簿費	0	(1回/3年)	38,200
総会費	0		50,000
分科会費	20,000		2,350
予備費	444,389	学会誌9号(391,400) 会報24号(10,300)	
合計	1,164,389		764,870

◆会員の異動等について

◎勤務先の変更

- 87-125 田中多津子→大阪市北区大深町二番一九〇号 大阪鉄道病院保健管理部
- 87-34 〇六一二七二一六二〇八 佐々木美幸→鳥取看護専門学校

◎自宅住所等の変更

- 87-134 武藤勝治→印西市木下一五二一―一四
- 89-008 奥仲三津子→〒569-11 高槻市氷室二―三九一―
- 90-16 河本令子→長崎市虹ヶ丘町二五―一
- 〇九五八―五七―三三三三

◎新入会員

- 679-21 和田美代子 兵庫県神崎郡香寺町溝口三四八―五
- 〇七九二―三三―〇二二五 (勤務先 姫路市准看護高等専修学校)
- 700 渡辺久美 岡山市鹿田町二五―一
- 一 岡山大学医療技術短期大学 看護学科

- 010-14 山口貴美子 秋田市上北平猿田字南代沢一七番地三
- 日本赤十字秋田短期大学(職場 〇一八八―二九―三〇〇〇―内線三〇五五)

- 563 竹中京子 羽曳野市はびきの三―七―三〇 大阪府立看護大学看護学科
- 〇七二九―五八―二二―一

亀山美知子著

おばあさんの一日

あなたの未来は見えますか
祖母の暮らしと生き方を見て老いの実相をつぶさに感じ、明日は我が身と書き綴ったエッセイ。¥1700

死にゆく人々に 教えられて

一看護婦として実践の場に出会った数多くの死。生命の終点に立つ人々を前に「看取り」とは何か¥1400

わたたちの約束

M・T・ツルと日本最初の看護婦学校
明治初期、看護婦養成の必要性を説きその教育専門学校の実現に情熱を傾けた女性宣教師がいた¥2800
〒612京都市伏見区竹山真幡木町39番5
TEL 075-603-1344 FAX 075-603-1814
(表示価格は税抜きです) 人文書院

◆会員の会報等の連絡先変更

- 94-015 牛島利明 東京都港区三田一―一五―四五 慶応大学商学部
- 〇三―三四五三―四五一―
- 〇住所変更等の場合、必ず事務局へ御連絡下さい。
- 〇本会の出版物をお求めの方は、事務局へ御連絡下さい。

◎『日本看護歴史学会会報』

- 創刊号より第二五号まで可頒価 一部二〇〇円
- ◎『日本看護歴史学会誌』
- 創刊号より第一〇号まで可頒価 一部五〇〇円

◎日本看護歴史学会「看護婦発祥百年記念アルバム・看護婦のあゆみ」

- 一冊 七〇〇円
- ※これらの出版物をお求めの場合は送料を確認の上、郵便振込口座にお振り込み下さい。
- 郵便振替口座番号
- 〇一〇一〇一―一五二―八五
- 日本看護歴史学会

訃報 丸山博先生は「保健婦五〇年」大会に御協力頂きましたが昨年一〇月一〇日逝去されました。八七歳でした。謹んでお悔みを申し上げます。

◆会費未納の方にお願

本会は皆様の会費によって運営されておりますが、現在約四〇名以上の方々が会費未納となっております。このままですと、本会の運営に多大な影響が出ることになりまますので、滞納されている方は至急、お振り込み下さい。(郵便振替口座番号は上の欄にあります) 尚、未納額を確認されたい方は会計の大平政子氏(名古屋市守山区上志段東谷 愛知県立看護短期大学看護学科)へ御照会下さい。

編集責任者

- 606-01 京都市左京区聖護院河原町53 京都大学医療技術短期大学看護学科 亀山美知子 発行責任者
- 京都府立医科大学医療技術短期大学看護学科
- 岡山淳子・福本 恵

事務局

- 〒602京都市上京区清和院口寺町東入ル 京都府立医科大学医療技術短期大学部
- 岡山淳子・福本 恵
- 〇七五―二二―一五四―二 岡山
- 〇七五―二二―一五四―三 福本